

拡 デジタル技術導入推進事業 11,500 千円(電気:3,600千円 工水:7,900千円)

(1) 趣 旨

デジタル技術等の導入・利活用により、一層の業務の効率化や作業の安全性を確保し、電気及び工業用水の安定供給体制の強化を図ります。

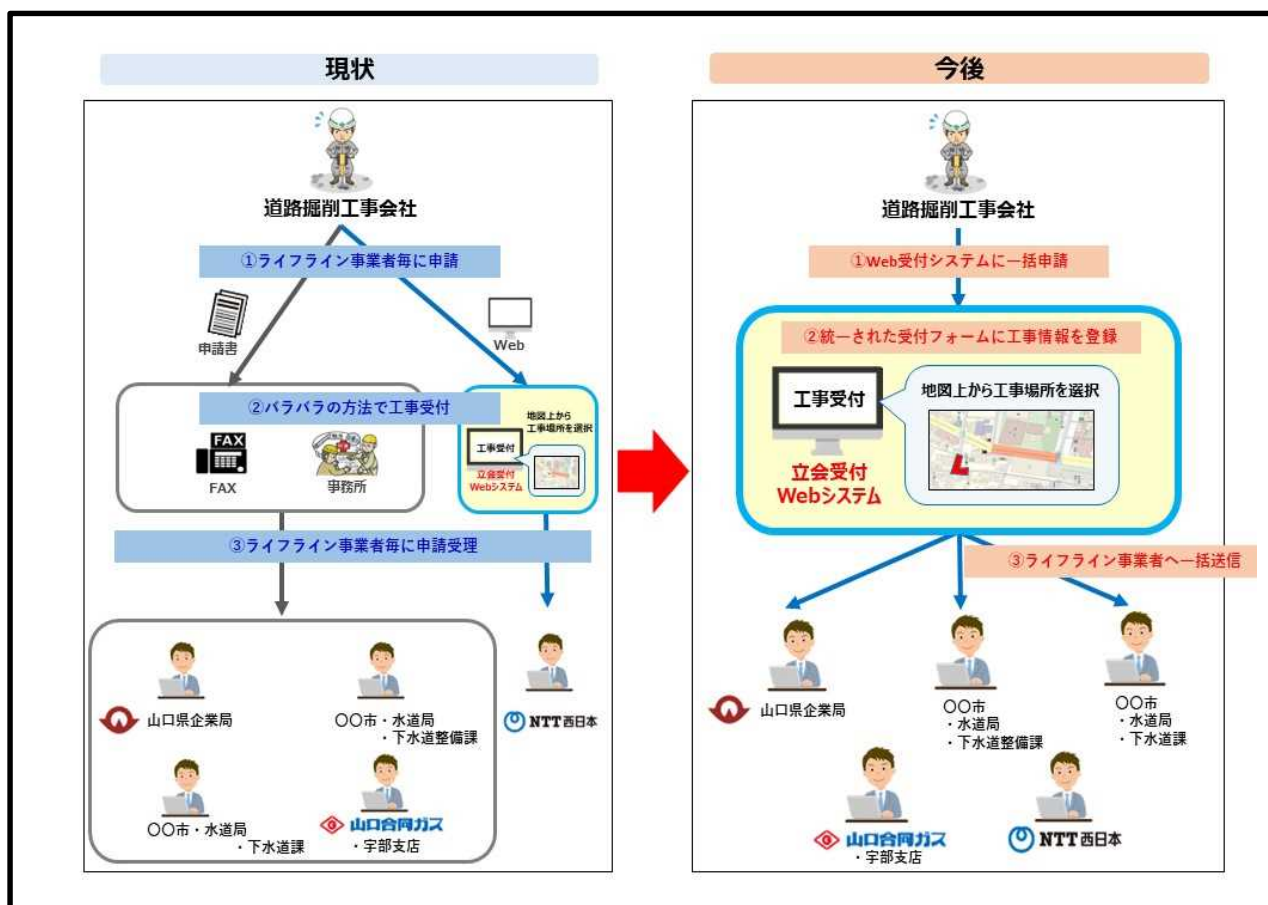
POINT

デジタル技術を活用して業務の効率化や利便性向上を図るとともに、効率的・効果的な維持管理や計画的な老朽化対策などを実施することで、電気及び工業用水の安定供給を確保

(2) 事業内容

① **新**立会受付Webシステムの導入

県内市町や民間インフラ事業者等と連携して道路掘削工事前の埋設物調査や現地立会申請のWeb受付システムを導入し、業務の効率化・省力化やワンストップにより利用者の利便性を向上



②A Iによる導水路点検・診断システムの試験導入

通水状態で無人カメラを活用した導水トンネルの点検等を実施し、損傷状況等の自動判別、健全性の診断の試験導入

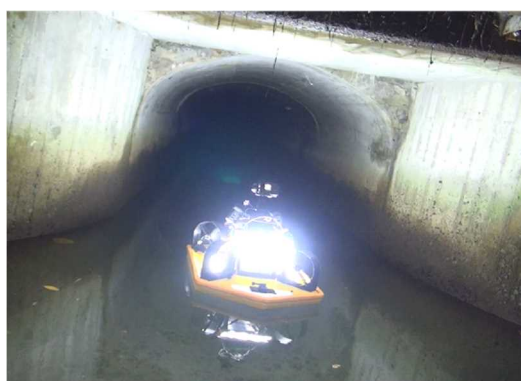
試験導入した結果、導水路ごとにトンネル内状況が大きく異なり、自動判別が困難なところがあるため、様々な導水路に対応できるように新たな手法やA I学習を実施

【現在の導水トンネル点検状況】



《断水による点検》

【無人カメラによる点検状況(試作機)】



《通水状態での点検》

(事業計画)

区分	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
A Iによる導水路 点検・診断システム	開発		試験導入		本格導入

③リモート現場管理の推進

- ・リモート現場管理端末を活用し、現場立会を効率化
- ・リモート現場管理端末上に電子点検表を作成し、タブレットを活用した巡視点検を行うことにより、点検結果の電子化による異常の早期発見及びペーパーレス化を目指す

【電気事業・工業用水道事業（共通）】

水源林整備推進事業 22,000 千円(電気:5,300 千円 工水:16,700 千円)

(1) 概要

森林の持つ水源涵養機能の維持・増進を目的として、県農林水産部の実施する水源ダム上流部における間伐・再造林事業に対して支援し、森林整備の促進を図ります。

(2) 事業内容

水源ダム上流部 14 箇所 計 512 ha（間伐：470 ha、再造林 42 ha）
（参考）令和 5 年度実績 水源ダム上流部 11 箇所
計 516 ha（間伐：453 ha、再造林 63 ha）

【電気事業・工業用水道事業（共通）】

水を守る森林づくり推進事業 2,400 千円(電気:800 千円 工水:1,600 千円)

(1) 概要

森林の持つ水源涵養機能についての理解醸成を図るため、県農林水産部との共催により、利水企業等と協働で水源の森林づくり活動に取り組みます。

(2) 事業内容

水源ダム上流部又は水源地域の 5 地区において、除伐等の森林づくり活動を実施
（参考）令和 5 年度実績 参加企業数：83 社
参加者：562 人（企業参加者のみ）



《水を守る森林づくり活動》